

平成 29 年度 横浜市立あざみ野中学校「豊かな心の育成」推進プラン

中期学校経営方針・「豊かな心」達成目標

TPOに応じた行動や挨拶を大事にしながら、できることをやろうとする姿勢が常にあり、集団や個人に貢献しようとする生徒を育成する。自分の役割を果たし、相互に信頼して協力をして事を成し遂げようとする生徒を育成する。

児童(生徒)の実態(「豊かな心の育成」にかかわる課題)

- ・日々の生活の中で達成感を感じる経験をしており、自己肯定感を強く感じている生徒が多いように思われる。しかしその反面とても傷つきやすい一面を持っている。
- ・街ができた歴史が浅く、生徒の学校や地域に対する帰属意識が弱いように感じる。
- ・帰国生徒が多く、多様な価値観がある。

「豊かな心の育成」に関する指導の目標・方針

- ・安心して楽しく学校生活を送るため、責任ある行動の育成と礼儀や規範意識をもたせる学習や活動を推進します。
- ・多くの人との交流を通して、相手の立場に立てる豊かな人権感覚の育成や、異文化共生を理解した活動を学校教育全般にわたって展開します。

指針1 「道徳の時間」の充実

- ・各学級の道徳の授業と学校の教育活動全体を通して行う道徳教育との関連を図り、体験活動を生かした指導を行います。
- ・全学級の道徳の授業を家庭・地域(年1回以上)に公開し、公開後の学級懇談会や保護者アンケート等を参考に「道徳の授業」の指導に生かします。【視点1】

指針2 体験活動の充実

- ・生徒にとって、不足しがちな体験活動を通して自分を豊かにし、相手を思いやる心を育成します。部活動などでの縦の人間関係や、生徒会活動や学校行事などでの一体感を伴った人間関係によって成長段階にふさわしい生活習慣や規範意識を身につかせます。【視点3】
- ・ボランティア活動を通して、自分ができることをやろうとする姿勢や、困っている人を助けようとする生徒を育成します。【視点4】

指針3 確かな人権感覚・意識の育成

- ・人と人との関わり合いを大切にして、認め合い・支え合いの活動を通して、相手の立場に立ち、物事を公平・公正に見る態度を育成します。【視点6】
- ・広島修学旅行へ向けて、計画的に平和学習を充実させていきます。【視点9】

指針4 豊かな感性や情操の育成

- ・朝総合を通して、主体的に読書に親しむ姿勢をはぐくみ、文化祭などの表現活動を通して子どもたちの表現力や創造力を高め、豊かな感性や情操を育成します。【視点10】【視点11】